

CUBE

13

Winter,
1996

No.

キューブ
IHI
PARKING
NEWS



それぞれの街は、
それぞれの顔をもつ。

IHI
石川島播磨重工业
パーキングシステム事業部

D E V E L O P -
M E N T
立 体 展 望

国土が狭く、都市部に自動車が集中するわが国の道路事情や駐車場事情が生んだのが立体駐車場である。業界のリーダーとして数々の新技術を創造し、新製品を世に送り出してきたIHIのテクノロジーの結晶が、いま、ここに誕生した。



第1号機完成 『IHIシャトルパーキングシステム』

パーキング新时代へ突入

『人と車に優しい大規模パーキング』をコンセプトに開発され、平成四年四月から販売を開始した『IHIシャトルパーキングシステム』の第一号機が、平成七年十二月、東京・銀座に完成した。

二十余年の実績が生んだIHI ならではのシャトルパーキング

■安全性の確保と快適利用

- 高い安全性を確保するためにパレット方式を採用し、全パレットにドアプロテクターを装備。高速搬送中の半ドアによる事故を防止でき、オイルや污水によるトラブルもない。
- 入庫バース、出庫バースが分離できるので高速かつ円滑な入出庫ができ、さらに人と車の動線が交差しないので安全性が高い。

■建設コストの低減

- リフト昇降毎分二〇メートル、移動台車毎分三〇〇メートル、出庫待ち時間も平均三八秒の超高速化を実現し、八〇台から数千台規模の駐車場の構築が可能。
- システム自体を無駄なくコンパクトに、さらに限られたスペースに効率よく車を格納できるので、自走式駐車場に対して三分の一という低減化を実現。

■シンプル設計によるメンテナンス性向上

- システム内での事故を防ぎ、他車の雨水やオイル漏れから守る車への優しさ。そして、入庫、出庫とも前進のみででき、女性や高齢者、全く初めての人でも利用しやすい。さらに出入庫バースはホテルロビー感覚の設計も可能で、もう一度その特長を振り返つてみたい。

- システムが誕生するわけである。駐車場内での事故を防ぎ、他車の雨水やオイル漏れから守る車への優しさ。そして、入庫、出庫とも前進のみででき、女性や高齢者、全く初めての人でも利用しやすい。さらに出入庫バースはホテルロビー感覚の設計も可能で、もう一度その特長を振り返つてみたい。

ESSAY・FREE WAY



「21世紀への道」

大慈弥省三
OJIMI SYOZO

石川島播磨重工業株式会社
代表取締役副社長

雲をくぐって飛行機が高度を下げてくると、朝靄のなかに白い8の字のループを描いたインターチェンジ、まっすぐに太く延びているハイウェイ。そこに車がせわしく走っている風景は、昭和36年に初めて渡米した時の私にとって一番印象的な風景であった。

昭和40年代になって、日本も本格的なハイウェイの建設時代を迎えて、今では全国で約5,900kmのハイウェイが完成され、このような風景も当たり前のものとなった。

このごろ、東京の湾岸道路を走ることがあるが、羽田を過ぎてしばらく行くと鶴見の翼橋、その向こうには横浜のベイブリッジが見える。

夕日に照らされた斜長橋の姿は、日本にもこんな光景ができるようになったのかと時間と技術の進歩を感じさせられる。

先月、北京を訪問する機会を得た。北京では目下第3、第4環状高速道路の建設途上であり、朝夕のラッシュ時にはどの道路も車があふれている。しかも自動車優先で、歩いている人や自転車の人は弾き飛ばされるような光景もあちこちで見られ、日本にもほんの少し前までこのような光景があったことが思い出される。

パリの凱旋門前のロータリーにひしめきあって入ってくる車の群れ、それをうまく操って走っていくパリジャンの真似は私には縁遠い。また石畳の狭い道路の両側に駐車している車の行列を見ると、商売柄すぐにタワー・パーキングを連想するが、パリジャンの気質にはなかなか受け入れてもらえるそうにない。

道路と自動車の動き方は、それぞれの国の文化発展度と国民気質を表していると言えるのではないだろうか。

昨年は阪神大震災を皮切りに、オウム真理教によるサリン事件、1ドル80円の超円高、銀行の大型倒産等々、亥年らしく荒れた一年であった。

西暦も96年となり2000年に向かって新しい5か年となる。

20世紀と21世紀をつなぐこの5か年は、21世紀への“道”である。

時代の変化に対応した有意義なスタートの年でありたい。



表紙のことば

バルセロナ市エスペラニヤ広場
(スペイン)

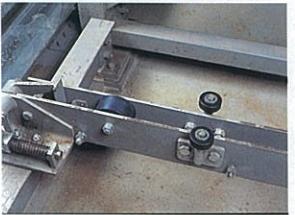
前3世纪にカルタゴ人が植民して出来たこの街はカタルーニャ文化の中心として中世にゴシック建築群を造りあげ、近代産業を発展させて1888年と1929年に万国博を開催した。その入口として三つの宮殿を望む場所に設けられたのが、時計回り8車線のロータリーをもつエスペラニヤ広場。1992年のオリンピックでここを駆け抜けたマラソン男子の森下、女子の有森両選手は共に銀メダルを手にした。

CUBE
IHI PARKING NEWS
Winter, 1996 No.13

CONTENTS	
1	ESSAY 『21世紀への道』
2	パーキング新时代へ突入 『IHIシャトルパーキングシステム』第1号機完成
6	ユーザー訪問 ●下関市・細江町駐車場 白い帆船の自走式駐車場
9	海外駐在員報告 ●中国 北京・上海の駐車場事情
11	景観シリーズ ●日本板硝子ビルパーキング 昼と夜の景観に工夫
13	パーキング百科 ●駐車場問題を考える PL法(製造物責任法)とは
14	台湾・安磊科技工程公司がエレベーター パーキングを初受注 他 『CUBE』-「立体」の意。三次元的な思考を要する時代の担い手でありたいという希望をこめた誌名。



中央が移動台車が走るレーン。
左右が車の格納棚。



格納棚の無給油フリーローラー。



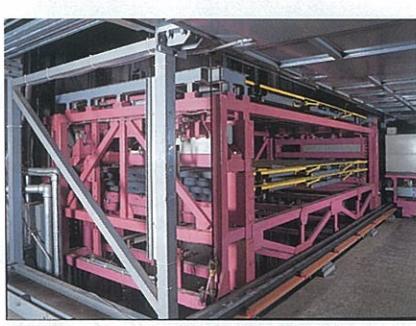
格納棚から車の乗ったパレットを
移動台車までスライドさせるパレ
タイズの仕組み。



高速移動台車。この上にパレット
ごと車を搭載して格納棚まで運ぶ。



車はパレットごと
格納される。



移動台車の下には、次の車の
ための空パレットが格納される。

いことが予想され、収容効率の高い大規模な駐車場が必要とされた。そこで白羽の矢が立てられたのがシャトルパーキングだ。

前述したように、シャトルパーキングの移動台車のスピードは毎分三〇〇メートルで、アイタワーの全長一一五メートルを約三秒で走り抜ける。一ユニット単位で考えれば、シャトルパーキングは細長い敷地に最適のシステムなのである。

アイタワーでは、地下一階に三層・地下二

階に二層の格納棚が一二列並んでおり、一二〇台収容の構成となっている。敷地の幅が狭いため、リフトと出入庫口を一体化して対応したのがリフトベース型となつたのである。

すなわち、オリジナル型ではなく、バリエーション型なのである。これは、オリジナル型の販売開始からわずか半年後にバリエーション対応したものであり、シャトルパーキングが、いかに容易に立地条件に合わせた設計が可能であるとの証明であるといえる。

I H I では現在九件のシャトルパーキングを受注しており、第二号機として平成八年五月に東京ユーロポートホテル向が完成するのをはじめ、北陸アーバンビル向、与野駅西口再開発ビル向が今年中に竣工の予定。また、平成九年には福井県福井市本町明里線地下駐車場が竣工する予定である。

二十一世紀を目前にひかえ、今後の機械式駐車場の在り方を提示したシャトルパーキングが、いま次々と現実のものとなっていく。

シャトルパーキングが創り出す、環境に応じた
建築物下



立 地に合わせて自由にレイアウト柔軟なバリエーション対応

シャトルパーキングは、本来、オリジナル型の一ユニット当たり八〇～一三八台を基本として数千台規模までの駐車場を構築できるが、地上（建物）の建設条件に合わせたさまざまなバリエーション展開が可能であることも大きな特長といえる。

■オリジナル型

シャトルパーキングの基本型。地下スペースの有効活用と高い収容効率で、安全性、利便性の高いパーキングシステム。スマートラインが取れるように入出庫口を縦にレイアウトできるパーキングシステム。

■フロントリフト型

道路下等のパーキング計画に対し、バイパスラインが取れるように入出庫口を縦にレイアウトできるパーキングシステム。

■ツインバース型

保管効率を高める必要があるスペースに駐車台数が確保できるパーキングシステム。

計画スペースが狭く、リフトと出入庫バースが分離設置できない場合などに適したバーキングシステム。

このような多様なバリエーション展開が可能なのは、これまでのパーキングが一つの「機種」のなかでのバリエーション展開しかできなかつたのに対し、シャトルパーキングが統合された“システム（体系）”として考え出されたからである。

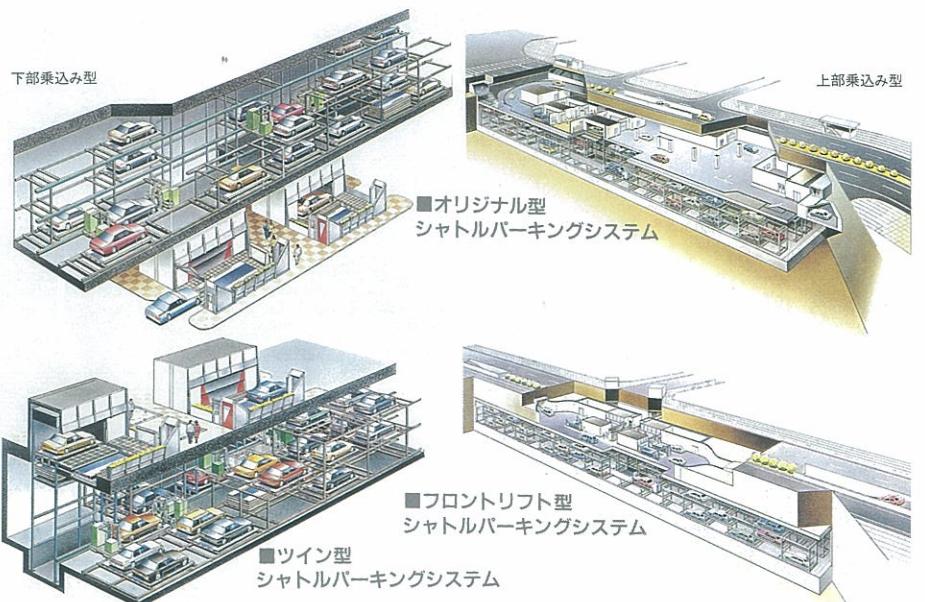
そのため、敷地の面積や形状、地上の施設

銀座アイタワー向 シャトルパーキング

平成七年十一月、東京・銀座二丁目の銀座アイタワーに、一二〇台収容のシャトルパー

の種類、駐車場の用途など、あらゆる条件に一〇〇%マッチした駐車場の設計が可能になつたのである。

東京の中心に記念すべき第一号機



キング第一号機が完成した。

銀座アイタワーは、店舗、事務所、共同住宅からなる地下三階、地上十四階十塔屋一階建ての複合ビルである。平成四年から「銀座プロジェクト」として計画が進められていたものが、幅約二二メートル、長さ約一五メートルとまるで道路のように細長い敷地での計画だった。

銀座という土地柄から、車での来訪者の多

シャトルパーキングを導入して

株式会社園田設計
代表取締役
建築家

園田 哲雄



「台」理想的なパーキングシステム

まず、幅が狭く奥行きが長いという敷地の条件がありました。オーナーさんからは、駐車場が少ない場所なのでできるだけ多くの台数を確保したいという要望があり、機械式や自走式など、いろいろ検討してみました。

基本的には地下自走式を考えていたのですが、この敷地ではかなりむずかしい、地下機械式の組み合わせも台数が大分減少するなどで、結果的にIHIから提案のあったシャトルパーキングを採用することになりました。ただし、地盤とともに江戸時代の護岸で地下の掘削は困難だったのですが、熊谷組の新しい基礎工法である「エルゼ工法」のお蔭でこの問題をクリアできました。

採用にあたっては、何しろ初めてのシステムということで、IHI東京第二工場の実証機をオーナー同行で見学しました。駐車場選定のポイントは、「台数、時間、安全性」の三点ですが、一〇〇台を超える駐車場ということ、近隣の交通への影響の問題も慎重に考えました。実際に初めて見て、想像以上に早いので感心しましたし、この入出庫システムなら大丈夫だと実感しました。

また、安全性は何よりも優先して考えなければならぬことですが、ベルトコンベアが

実績を重ねて コスト面の改善を

走るタイプより、パレット式の方がはるかに安全性は高いと思います。

今回、実際にシャトルパーキングを採用してみて、この立地に適合したというだけでなく、全体にスペースの無駄を省いた効率的なシステムだと思いました。

建物を設計するにあたって、駐車場をどのよう組み込むかという問題は避けた通りで、シャトルパーキングは、そういう意味で、あまり制約を受けずに設計できるメリットがあると思います。

今後の課題としては、駐車場内部の換気とコストの問題があります。現在は管理人を置いているのですが、カードリーダー式に対応してランニングコストを抑えるということも考へる必要があると思います。完成してからの周囲の反響は大きいものがあります。先日、海外からの訪問客にも見学してもらったのですが、非常に驚いていました。ヴェトナム、香港、韓国などが、これら伸びていく市場になるのではないでしょうか。

D E V E L O P -
M E N T 立 体 展 望

魅力的な新しい街づくりの先駆けとなった 白い帆船の自走式駐車場

IHI
USER
ユーザー訪問

14

山口県下関市
細江町駐車場



下関のまちに威風堂々と姿を横たえる細江町駐車場。

「帆をなびかせた白い船」。そんな印象の美しい外観を持つ立体駐車場が、下関市に誕生した。公共の駐車場でありながら、従来の立体駐車場のイメージを一新。この斬新で画期的な駐車場建設に着手したその背景や経緯、また、この新しい駐車場に込められた熱い想いを下関市都市整備部都市計画課の担当者の方に語っていただいた。

本州最西端の港湾都市・下関市は今、「海峡あいらんど21」と銘打った都市拠点総合整備事業を展開し、新たな都市拠点の形成を図ることともに、海峡沿いのウォーターフロントの再開発をめざして、「あるかばーと下関」の計画を進行させている。その中心地の一角に平成七年四月、『下関市細江町駐車場』がオープン

した。これは二十世紀に向けて開発が進むこのウォーターフロントに、先陣を切って誕生させた下関市のシンボル的施設の一つなのである。

延床面積約一万二〇〇〇平方メートル、鉄筋鉄骨造り、四階五層の自走式駐車場で、普通車五〇〇台、バス一百台が収容でき、周辺



正面が入庫バス。手前に出庫バス用のターンテーブル。



リフトと一体化した直接乗り入れ型の出庫バス。



シンプルな構造で収容効率の高いシャトルパーキング内部。



の飲食街などのニーズに応えて、深夜一時まで営業している。

そして、なんといっても特筆すべきは、海岸にあるで一隻の大型帆船が浮かんでいるかのような美しいシルエットであろう。従来の無味乾燥な立体駐車場のイメージを払拭し、駐車場の新しいあり方を提案した斬新なデザ

インは、「海峡を渡る潮風が香るまち、下関」にふさわしく、海峡を背景にして、人々とした存在感を漂わせている。

プロポーザル方式を導入し

従来の立体駐車場から

「脱・駐車場」を目指す

「従来の駐車場は、駐車機能の効率を追求す

るばかりで、とかく地域との調和を欠き、暗くて味気ないものになりがちでした。そこで、これは新しい街に向けた地域の顔、街並みの先導となる駐車場にしたいと考えたのです」

この駐車場が設置された細江地区は都市拠点総合整備事業地内であり、この駐車場は、下関市の中心市街地の形成をめざすとともに、先導となる駐車場にしたいと考えたのです」



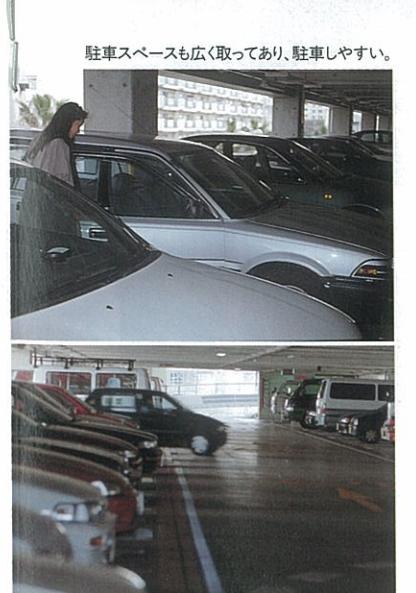
採光のための中央の吹抜け。



低層なので、訪れる人に威圧感を与えない。



併設されたバス専用駐車場。



駐車スペースも広く取ってあり、駐車しやすい。



海の風と光が通り抜けるオープンな雰囲気が、随所に見られる。



下関市都市整備部都市計画課主任の大崎信一さん(左)と同計画課主任の金山俊之さん(右)。



ないその外観は、昼間はまるで海峡を行き交う船影を彷彿させ、夜間は、街並みのなかに浮き上がり、美しくライトアップされている。「常に景観に即していく」という意識が根底にありました」

設計当時、この地域には、「海峡あいらんど21」の街づくりが進み、周辺には、ヤシの並木が美しいシンボルロード「グールバール」、デザイン性の高い個性的な公園「海峡ゆめ広場」などが配置されるなど、新都市構想が着々と進行しつつありました。

「場所としての個性を生かすためには、それらに調和させ、吹き抜けの風のなかで風景も見える位置に建てる施設として、やはり、かなりのこだわりを持っていますね。この駐車場が下関の施設として高く評価されるよ

うに努めたのです」

そんな努力の結果、帆船のイメージを持つ美しい駐車場が完成した。この駐車場は、モニュメントとしての機能も果たしており、海から望む街のパノラマのなかでの都市景観の重要な要素となつた。

「これから街ができるいく状況のなかで、この駐車場が、地域にふさわしいものを引き張り、ついく先駆けの施設となつていなければならぬと思います。もし、ここに真四角の駐車場を作つてしまえば、これから建設されるビルに対して景観や地域性などと言えませんからね」

従来のイメージから脱し 新しい街づくりを先導する 魅力的な施設の創造を

いの、いわば、従来の箱型の駐車場を建てるつもりだったのだそ�うだ。

「これまで下関には駐車場が少なくて、違法駐車などの問題が山積みだつたのです。駐車場の設置は、下関における都市交通や都市の活性化のなかで、早急な課題でした」

「もともとは、中心市街地の違法駐車の解消や交通混雑の緩和を図り、駐車需要に応えるという当然の目的で着手し始めた駐車場建設だつたのだ。ところが――

「これまでの下関の街は、海・港湾というイメージが強く、海沿いには、工場や漁港やコンテナなど港湾施設を配置するばかりで、市民とほとんど接触がなく、人が魅力を持てるもののがありませんでした。それが今、海沿いを再開発して、新しい街づくりをしようといふ動きのなかで、これから公共施設の整備に関しては、未来の街に対しての思いを込めたものにしようという流れが生まれてきました」

「これから街づくりに、施設が定着して評価されるためには、地域にふさわしい、街並みと調和した建物が必要だと思います。この駐車場は、駐車場でありながら、「地域を語れる」のです。今後、この駐車場が街づくりを進めていくための先導となり、街の活性化や景観誘導につながっていくほしいですね」

「新しい街づくり――そんな大きな課題を前に、あらためて駐車場のありかたを見直した下関市は、機能性のみにとらわれることなく、地域性を考え、柔軟に発想した。多大なバランスアドリアを実現したこの試みは、今後の立体制駐車場のありかたに新しい提案をしているよう思われる。

「これから街づくりに、施設が定着して評価されるためには、地域にふさわしい、街並みと調和した建物が必要だと思います。この駐車場は、駐車場でありながら、「地域を語れる」のです。今後、この駐車場が街づくりを進めていくための先導となり、街の活性化や景観誘導につながっていくほしいですね」

8 CUBE

設け、自然光がたっぷりに入る明るく快適なスペースにした。また二階には海に面した展望待合室、屋上には展望デッキを設置し、関門海峡を望むすばらしいロケーションを満喫できる待合スペースも確保した。もちろん、使いやすさを考慮して、女性や初心者でも運転しやすいゆとりのある車路や広い駐車スペースを確保している。

さらに、出場時の混雑を少しでも解消し、事前料金精算システムを導入した。これは、出場際、乗車前に精算を済ませ、その後十五分間は追加料金が不要という方式で、出場がスムーズになるうえ、混雑時に場内で出場待ちをしていても料金が上がる心配がない。

「利用していただく方々にとつては、施設の魅力度や地域との調和が非常に大切です。やはり、愛着を持つ気持ちがあればこのご利用ですかね。その他にも、この駐車場は、空に對しても、海に対しても開放されてしまふので、海沿いのイベント、例えば、海峡花火大会などのときにも上手に利用してもらいたいと考えています」

街並みと調和し、地域の個性を引き出す 斬新なデザインを実現

こういった数々の魅力のなかでも、この駐車場の最も特徴的といえるのが帆船をイメージしたシルエットだ。おそらく駐車場とは思え



下関市都市整備部都市計画課主任の大崎信一さん(左)と同計画課主任の金山俊之さん(右)。

これから始まる車社会

北京・上海の駐車場事情



北京の空港高速道路の料金所。

● ニーハオ!

日本の皆さんこんにちは。

いま中国では急速な近代化が進んでいます。
特に都市部では産業の発展がめざましく、

オフィスビルや工場の建設が次々と進められ、
自動車の数も急増しています。

今回は、機械式駐車場の需要が予想される

北京と上海の駐車場
リポートをお届けします。

I H I 北京事務所

宣曉影 王文莉
宣晓影 王文莉



ルで一・八八万平方キロメートルの四国には
ぱ匹敵する。ただし、車がひしめいている場
所は、直径一五キロメートルの第三環状道路
内で、それ以外の場所では今でも馬車を見か
けるほどである。統計によると北京の車の台
数は八〇万台、その内タクシーが八万台であ
る。一〇キロメートル走つて、わずか一〇元
の足として親しまれている。

北京飯店、西單百貨店などがある繁華街の
商業施設に付属する狭い駐車場は常に満車で
あるが、乗用車は運転手付きが多いため、駐
車場が満車でもいたん運転手を返し、また
迎えに来てもらうという方法を取っている。
デパートであれ、ホテルであれ、路上駐車
場であれ、あらゆる駐車場には切符切りの係
員がいて駐車料金を徴収される。しかし、料
金は安く、駐車一回当たり一元から二元で日本
円に換算すると一二一二四円程度である。

機械式駐車場に関しては、北京の北方に位
置する内蒙占国境に近い承德市のメーカーが
「承德製」という中国製立体駐車場を作つて
車というイメージであった。一九九三年から
中国政府は自動車産業に力を入れ、九五年六
月には国务院が個人の車所有を奨励するとい
う意向を発表し、中国も車社会への大きな第
一步を踏み出した。

国务院発表の今後の計画では、二〇〇〇年
の自動車生産台数を二〇〇万台に、そのうち
乗用車は一五〇万台としており、自動車保有
台数は、現在の九四〇万台から一千万台にな
るとの見通しを立てている。



北京の車事情、駐車場事情

北京の総面積は一・六八万平方キロメートル

い。しかし、現状は日本のように利用車一台
ごとに駐車料金を徴収するのではなく、駐車
場スペース一台分そのものの使用権を売り渡
してしまうといった方法を取っている。

車の価格は、日本車のクラウンを輸入する
と、関税とその他の費用が加算されて約一千
万円で、国产車の中型車が三〇〇万円程度で
ある。したがって、駐車スペースが二〇〇万
～二五〇万円程度であれば、買いたいという
客は大勢いる。

中国の各都市から立体駐車場の問い合わせ
が来ているが、そのなかで最も具体性のある
のがこの上海である。

上海では事務所ビル、商業ビルを建築する
場合、総床面積の〇・二～〇・五%の駐車ス
ペースが義務づけられており、これに違反す
ると建築許可が下りない。こうした状況のな
かで、具体的な引き合いが出始めているので
ある。

上海は北京と異なつて道は狭く、街中に空
き地が少なく、駐車スペースが極端に少ない。
特に、繁華街の南京東路は全面駐停車禁止と
なつていて。

現在、上海では大型高層ビルの建設が盛ん
に進められており、駐車場建設のニーズは高
い。

上海の車事情、駐車事情

いつまう、上海の自動車保有台数は約四四
万台で、その約半分が乗用車である。

上海のタクシーは三万五千台。国際都市上
海らしい風景だ。



北京のルフトハンザ商業センターの有料駐車場。



北京飯店の有料駐車場。



北京の有料駐車場の集金係の男性。



車と自転車で混雑する北京の東単交差点。



上海の大商業センター「豫園商城」の駐車場。



上海・黄浦江沿いの外灘地区的幹線道路。

今後の展望

今までの中国においては、車と言えば公用
車というイメージであった。一九九三年から
中国政府は自動車産業に力を入れ、九五年六
月には国务院が個人の車所有を奨励するとい
う意向を発表し、中国も車社会への大きな第
一步を踏み出した。

国务院発表の今後の計画では、二〇〇〇年
の自動車生産台数を二〇〇万台に、そのうち
乗用車は一五〇万台としており、自動車保有
台数は、現在の九四〇万台から一千万台にな
るとの見通しを立てている。

自動車台数の飛躍的増大に伴つて、駐車場
不足が社会問題になるのは明白である。機械
式立体駐車場が、まず上海で普及し、徐々に
広州、深圳、南京、北京等の大都市に広がつ
ていくと予想される。



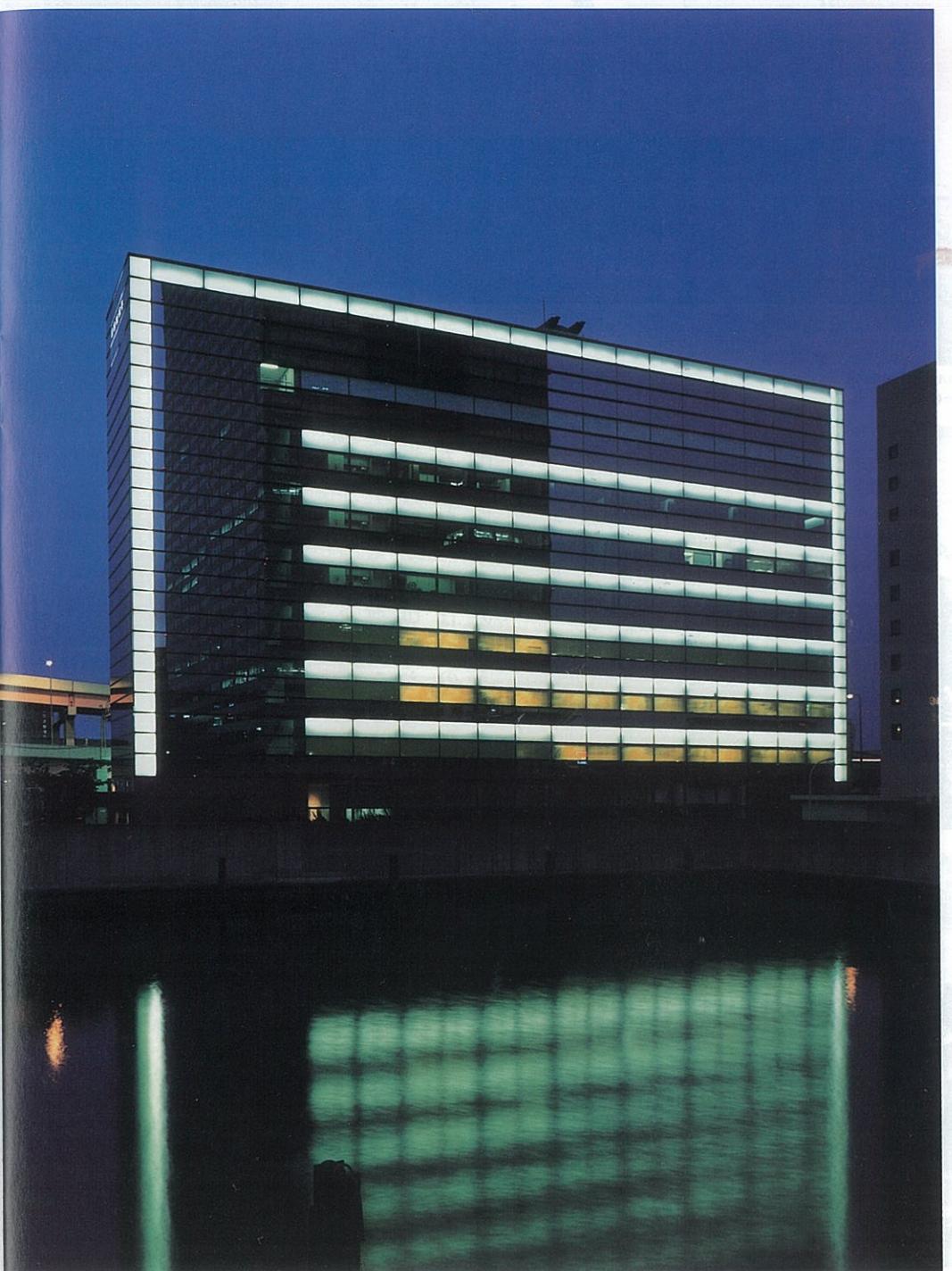
景観シリーズ
第9回

東京都港区芝浦
日本板硝子ビル
パーキング

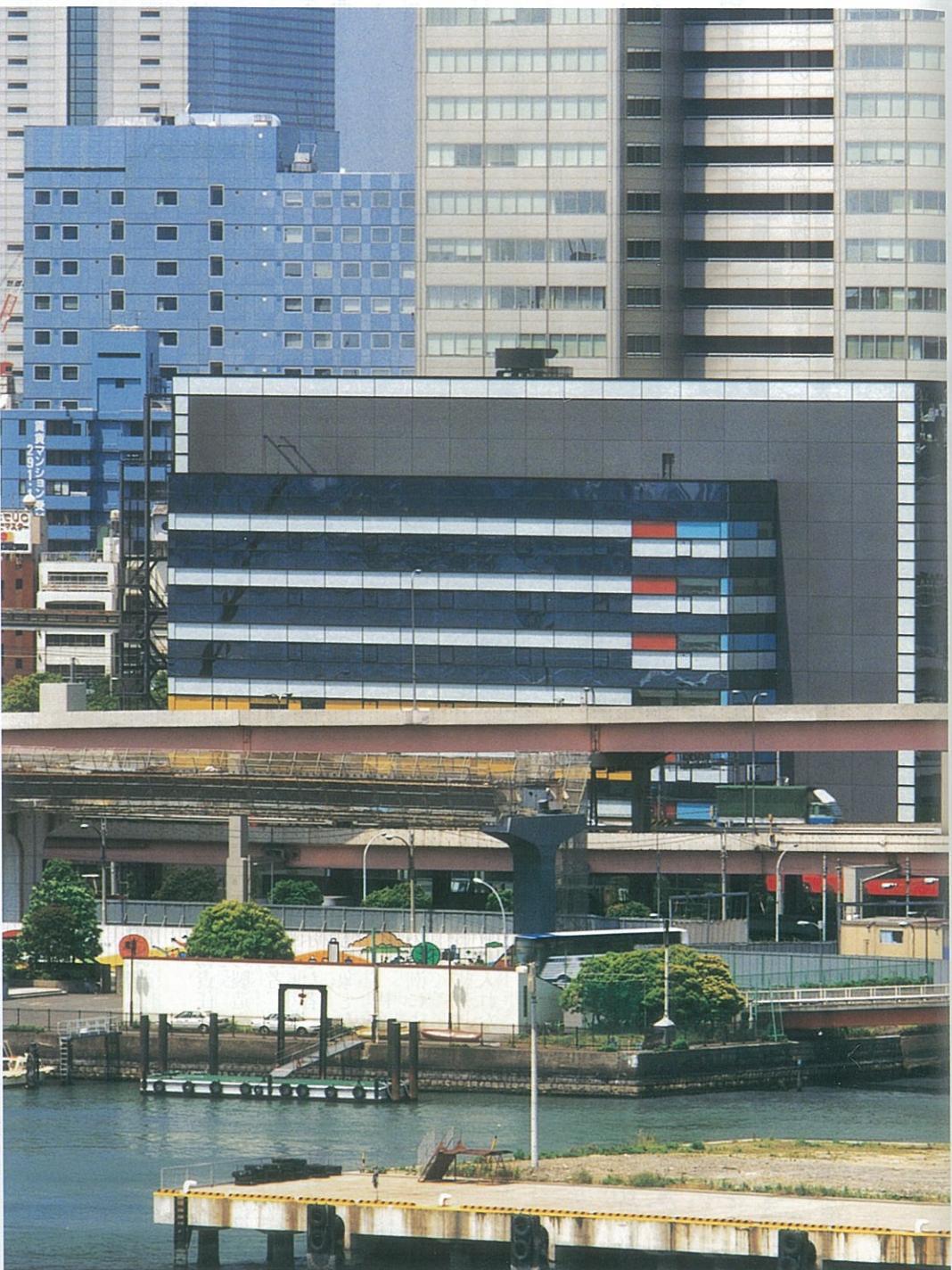
昼と夜の景観に工夫

タワーパーキングを独立型にするか、ビルとの一体型にするかは、都市景観の面から、あるいはビルの性格上から、さまざまな条件によって検討される。日本板硝子ビルの場合は、立地条件と景観を優先させて、一体的に考えられた。

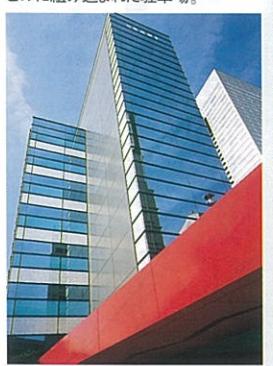
設計者に、そのあたりのことを話していただいた。



運河に映える夜の表情。



ビルに組み込まれた駐車場。



港の方向から見た昼の景観と、

……などと思つていてました。しかし、法規制の上からそもそもできず、GRCの部分に組み込むことになりました。

ですから、外から見ればここに駐車場があることは思えない、その意味では、すつきりした外観になつたといえるでしょう。

●お話をいただいた人

株式会社 日建設計 東京本社
設計部長 大塚 隆さん

主任部員 森谷 幸夫さん



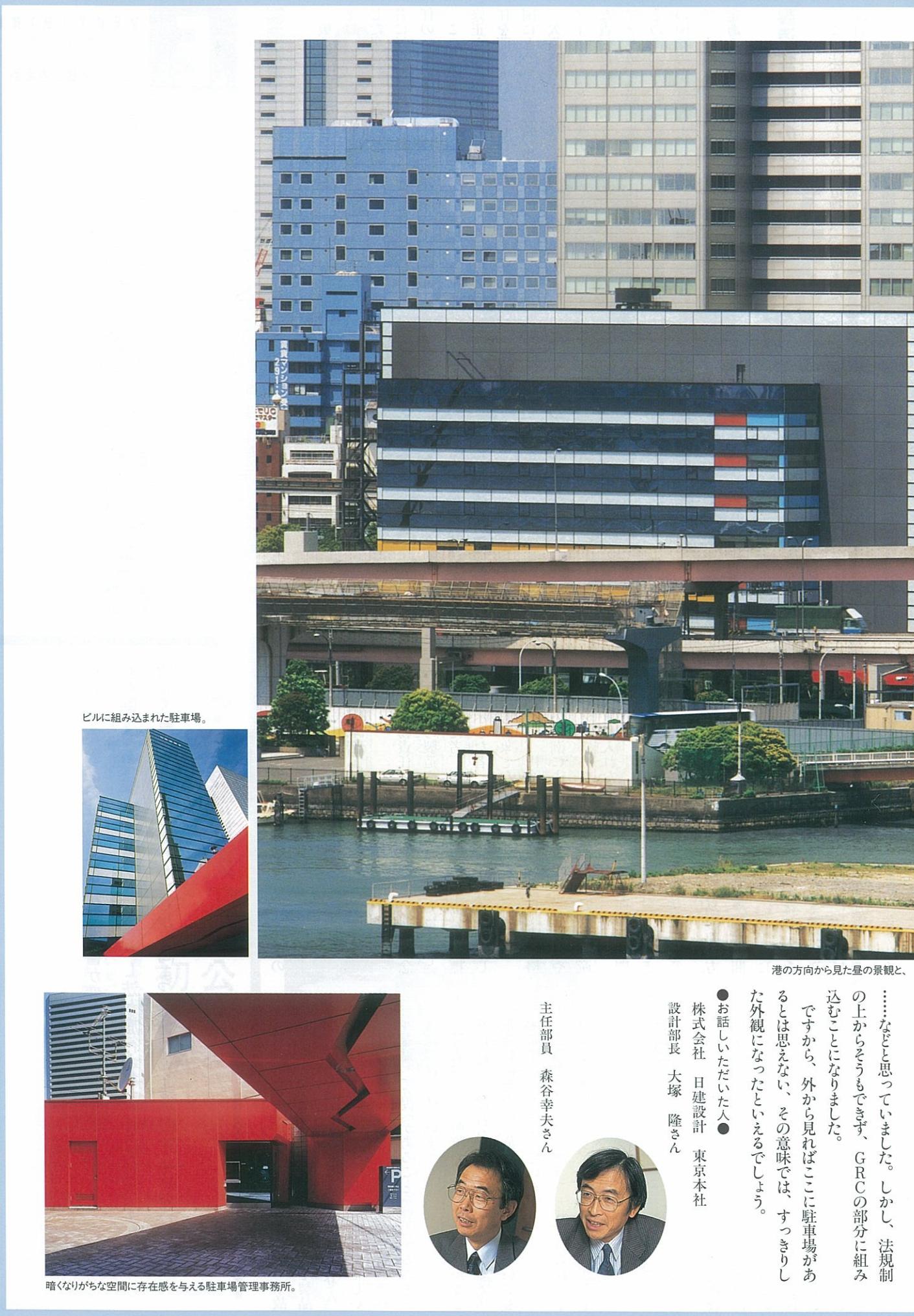
暗くなりがちな空間に存在感を与える駐車場管理事務所。

高速道路やフェリーでアプローチしてくる人にも、モノレール側から眺める人にも、ともに正面になるような建物にすること、また超高层ビルから見下ろす人の目や遠望も意識すること——これが立地条件から見た基本的な考え方でした。そして、ビル全体をガラスのショールームにするというPR効果の狙いもあって、建物の計画が進められました。

まず建物全体を二つの立体で構成し、わかりやすいプランを基本にしていました。ガラスとGRCとで、できるだけシンプルな建物に見えるようにしました。

ガラスのショールームですから、ミラーガラスと透明ガラスを使い分けたうえで、複層ガラスの中にガラス纖維マットを入れて、日除け効果をねらつたり、マグネットモーターによるブラインドを仕組んだり、ガラスを鉄で取り付けたり……など、いろいろと工夫をしています。その結果、昼と夜の表情に違が生まれ、単調さをさけることができました。

タワーパーキングは、ビルと一体にすることは最初からの考え方おりだったのですが、初めの構想では、できればシースルーにして



PL法(製造物責任法)とは

製造物責任法とは

製造物責任(プロダクト・ライアビリティ)とは、製品の欠陥が原因で人や物に損害が生じた場合に、その製品のメーカーなどが被害者に対して負わなければならない損害賠償責任のことです。

この法律は、わが国の民法の原則に大幅な修正を加え、過失の有無にかかわらず賠償責任を問うという新しい法律を採用した。わが国にとっては画期的な法律です。

欠陥商品による被害者救済という観点から、メーカーなどの過失の有無にかかわらず厳格な責任を課すという考え方は、一九六三年にアメリカが世界に先駆けて採用したもので、その後、ヨーロッパ諸国をはじめとする世界の国々に影響を与え、今日ではオーストラリア、中国、台湾などでもPLに関する法が制定あるいは施行されています。

アーティストが世界にはじめてする世界の国々に影響を与える、今日ではオーストラリア、中国、台湾などでもPLに関する法が制定あるいは施行されています。

アーティストが世界にはじめてする世界の国々に影響を与える、今日ではオーストラリア、中国、台湾などでもPLに関する法が制定あるいは施行されています。

製造物責任法では、製造物の欠陥を「設計上の欠陥」、「製造上の欠陥」、「指示・警告の欠陥」の三種類に分けています。

ここでいう「欠陥」とは、「当該製造物が通常有すべき安全性を欠いていることをいう」とされています。すなわち、製造物に安全性に関わる欠陥があつたかどうかが、判断基準となります。部品に欠陥があつて画像が出ないテレビのような場合には、安全性に関わる欠陥ではないので「製造物の欠陥」には該当しません。

「製造物の欠陥」は、当該製造物の特性、予

最近、家電製品の注意書や取扱説明書が変わったと思いませんか？
わが国でも、平成七年七月一日からPL法が施行されたのをご存じですか？
新しく登場し、人々の関心が高まってきたPL法の概要を紹介します。



立体駐車場工業会設立三十周年記念祝賀会



アジアへ広がる IHIパーキング システム

IHIでは、アジア地区でのパーキングシステム普及拡大のために、これまでさまざまな提携活動を展開してきました。

韓国においても、これまでの提携活動を展開してきました。昨年十一月に社団法人立体駐車場工業会が設立三十周年を迎えた、東京・目黒の椿山荘にて盛大に記念祝賀会を開催しました。永年にわたる駐車場に対する功労者の表彰があり、IHIからも建設大臣感謝状受賞の二名をはじめ、立体駐車場工業会から七名が表彰を受けました。業界のリーディングカンパニーとして、業界全体の発展により一層尽力すべく励んでいく所存です。

今年は、お伝えしたい情報が重なり、ご好評をいただいている「駐車位置を分譲販売」するという新しいビジネスに参入するにあたって、安磊科技工程公司が選ばれたのです。

台湾・安磊科技工程公司がエレベータパーキングを初受注

安磊科技工程公司では、台湾聯通停車場開発公司より、二基連立一六〇台収容のエレベータパーキングを初受注しました。

台湾聯通が台北市内で増えて

きた「駐車位置を分譲販売」するという新しいビジネスに参入するにあたって、安磊科技工程公司が選ばれたのです。

完成は平成九年一月の予定。

CUBE No.13
Winter, 1996

発行日●1996年2月10日
発行●石川島播磨重工業株式会社
パーキングシステム事業部
〒100 東京都千代田区大手町2-2-1
新大手町ビル Tel.03-3244-6408
編集責任者●梶川敬一郎(第一営業部部長)
編集●営業推進グループ
制作●株式会社 RIV アソシエーツ
印刷株式会社リプロ
©石川島播磨重工業株式会社 禁無断転載複写

見られる使用形態、引き渡し時期、その他の事情の四項を考慮して判断されます。

製造業者とは

製造物責任法でいう製造業者は、通常概念としての製造や加工した者(法人)に加えて、輸入した者、製品に自らの名前や商号・商標を表示した者、製造者と誤認される表示をした者も対象となっています。

これは、円高の進行や海外調達による価格低減の風潮により近年増えています。輸入品やプライベートブランド生産などとOEM生産を考慮に入れられたものです。

指示・警告の徹底

指示・警告上の欠陥は、その製品の使い方や危険に関わる情報提供というソフト面が問題とされます。危険には、「誰もが一目瞭然に分かる危険」と「見しだけでは分からない潜在的な危険」の二種類があります。製造物責任法が問題としているのは、「見しだけでは分からない潜在的な危険」です。

製品本来の使用目的から考えて、どうして

おわりに

動産である駐車装置においても、製造物責任法が施行されてから警告表示と取扱説明書の整備が進められており、徐々にPL対策が実行されています。しかし、製造物責任法で定められた警告表示の遵守と、不動産である建築意匠の調和が現実的な問題となつてきています。今後の動向が注目されます。

三星重工との提携に加え、新しく雙竜精工とエレベータパーキングの技術提携を開始しました。ますます発展するソウルの街で、IHIエレベータパーキングが初登場するのも間近です。

当誌の発行も、お蔭様で四年目になります。皆様のご支援の賜物と改めてお礼申し上げる次第です。

今号は、お伝えしたい情報が重なり、お問い合わせやご意見を左記石川島播磨重工業株式会社に直接お寄せください。お詫びいたします。

も潜的な危険が避けられないときは、事故を未然に防ぐために、その危険について製品の使用者に注意を喚起しなければなりません。製品に警告ラベルを貼つて危険があることを警告することができます。

義務づけられています。警笛は簡潔明瞭で、誰にもすぐわかるよう、警笛に従わなかった場合の危険の度合、危険の回避方法、危険の対処方法についても注意を喚起するため、取扱説明書で正しい使い方を指示とともに、製品に警告ラベルを貼つて危険があることを警告することができます。

このため、ピクトグラフと呼ばれる絵文字を文章と一緒にしたり、文字の色や大きさを工夫しています。